



■ごあいさつ

現代社会においては、より災害に強い社会基盤の整備や、よりエネルギー消費を低減し環境を保全する、長期的に持続可能な都市づくりが求められております。そのなかで、私どもカネソウ株式会社は、災害対策への対応や地球温暖化防止のための対応、さらには高齢化社会を見据え、安全で安心して暮らせる快適な生活環境の創造に向けて、常に皆様のお役に立ち続ける企業でありたいと考えております。これからも、建築・防災・都市景観整備・環境・福祉・緑化をはじめとした分野で、きめ細かなサービスと商品を皆様に提供して参ります。今後とも、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



カネソウ株式会社
代表取締役社長
近藤健治

基本理念

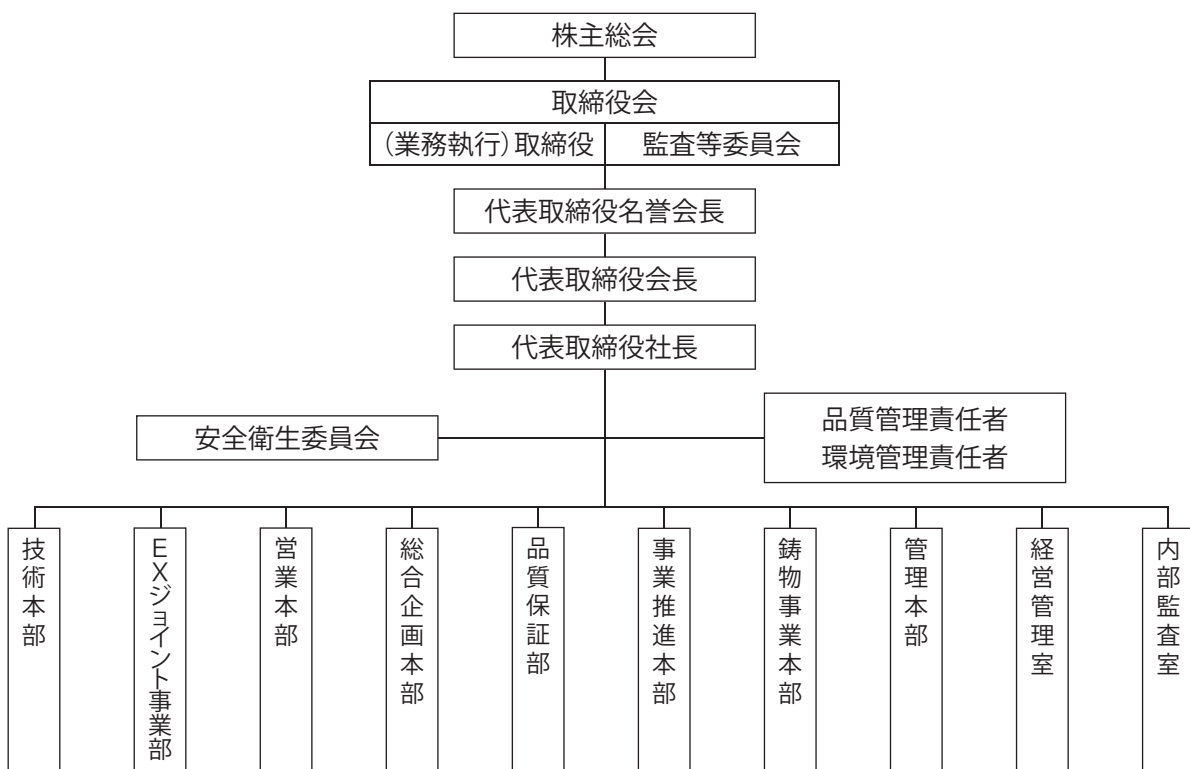
社是

覇道を行わず、常に王道に順う

社訓

- 一、すべてに誠実であれ
- 一、仕事に厳しさを求めよ
- 一、和を貴び礼節を正せ
- 一、常に謙虚であれ

組織



■ 会社概要

社 名 **カネソウ株式会社**

本社所在地 〒510-8101
三重県三重郡朝日町大字縄生81番地
TEL 059-377-4747
FAX 059-377-5684

代 表 者 代表取締役社長 **近藤健治**

創 業 大正11年 2月

設 立 昭和54年10月

資 本 金 18億2,000万円

株 式 名古屋証券取引所市場第2部上場 証券コード：5979

事 業 目 的 建築・防災・都市景観整備・環境・福祉・緑化関連製品の製造及び販売

事 業 所 東京支店・大阪営業所・仙台営業所・福岡営業所

従 業 員 数 240名(平成30年3月現在)



●本社社屋

■ 沿革

大正 11年 2月 三重県桑名市大字桑名344番地に於て、現名誉会長小林昭三の父 小林惣太郎により創業。

昭和 45年 3月 小林鑄造株式会社を設立。

昭和 54年 10月 カネソウ株式会社を設立。

昭和 63年 4月 小林鑄造株式会社が日本工業規格表示許可工場(JIS G 5502 球状黒鉛鑄鉄品)に認証される。

平成 3年 3月 小林鑄造株式会社と合併。

平成 4年 11月 (財)素形材センターより第7回素形材産業環境優良工場として表彰される。

平成 6年 4月 下水道用資器材製造工場に認定される。

平成 7年 11月 工業標準化実施優良工場として中部通商産業局長より表彰を受ける。

平成 8年 12月 品質マネジメントシステムの国際規格「ISO 9001」の認証を取得。

平成 9年 3月 名古屋証券取引所市場第2部に上場。

9月 環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」の認証を取得。

平成 14年 3月 2001年度三重県経営品質賞奨励賞を受賞。

平成 15年 3月 2002年度三重県経営品質賞優秀賞を受賞。

平成 18年 11月 新JISマーク表示制度に基づき、JIS表示の認証を取得。(JIS G 5502 球状黒鉛鑄鉄品)

平成 20年 3月 小林昭三が会長から名誉会長に、小林正和が社長から会長に、近藤健治が副社長から社長に就任。

平成 29年 2月 創業95周年を迎える。

■経営上のキーワード

カネソウでは「快適をかたちに」をミッションとして、環境保全を推進しながら、建物の防災ニーズへの対応、景観整備を含めた都市環境の快適化、高齢化社会における安全で安心して暮らせるまちづくりなどに貢献して参ります。



●防災ニーズへの対応

近年、住環境に対しての防災ニーズが急速に高まっています。これに対しカネソウでは、地震や不同沈下による建物の損壊を防ぐエキスパンションジョイントを昭和59年より提供してきました。さらにここ数年、地震時における建物の安全性に対する要求が高まり、その着工件数が確実に増えている免震構造建築に対し、専用のエキスパンションジョイントを開発・製造し、庁舎、病院、マンション、物流倉庫など多くの建物に納入しております。また、木造住宅用の耐震補強装置など防災ニーズにお応えしています。

●都市環境の快適化

生活圏の快適さを高めるため、都市環境の整備はこれからも増えていくと思われまます。誰もが安心して暮らせる安全で快適な都市環境づくりは、社会ニーズとして求められています。

カネソウでは、歩行者の安全性を確保すると共に、意匠にこだわった製品を開発。歩行者の転倒事故を未然に防ぐノンスリップタイプのみぞ蓋、ベビーカーや杖がスムーズに通過できる、すきまの小さいタイプの各種みぞ蓋や、歩道と車道の分離を図るための車止め・横断防止柵などを提供しています。



●福祉のまちづくりへの貢献

高齢化社会を迎え、住まいや周辺の生活環境が変わりつつあります。安心して通行できる幅の広い歩道、段差の少ない歩行環境など、高齢者や障害者にも配慮された快適な福祉の街づくりが多くなってきました。

カネソウでは車椅子やベビーカーの通行をスムーズにする細目タイプのみぞ蓋、視覚障害者誘導用のマーカー、トイレや浴室で体をサポートする補助手すりなどを用意して、これらのニーズにも応えています。



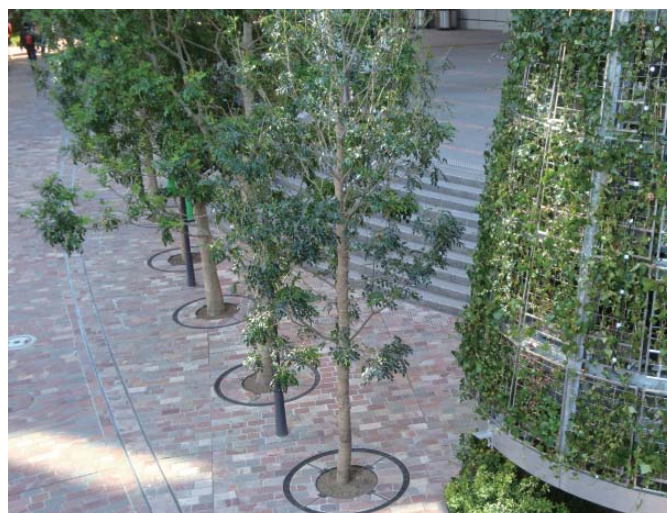
●環境保全の推進

地球環境の保全は、人類にとって大きなテーマです。

カネソウでは、人が生活していくうえで必要な環境保全にも役立ちたいと考えています。太陽光発電システムを建物に設置するための製品や、建物に降り注いだ雨水を、清掃やガーデニングなどの水撒き用の水として貯えておく雨水利用システム、廃木材とプラスチックから、腐らない木として再生させたりサイクルウッド、廃タイヤを再利用し、舗装材やタイヤ止めに再生したりサイクルゴムチップ製品など環境に配慮した製品を開発しています。

●人と緑の共生

都市部において、ヒートアイランド現象やCO₂の増加が問題となっている現在、都市部における緑化の推進、人と緑の共生が重視されています。この様な中でカネソウでは、都市部において、より有効に緑地面積を増やす屋上緑化・壁面緑化をサポートする製品を提供。また、公園や歩道、建築外構における緑化・造園関連製品として、路面の有効スペースを確保しながら樹木の根元を踏圧から守り、水分の吸収や通気を確保する樹木保護蓋や植栽柵用見切材を供給する事により住環境における緑化の推進を行っています。



■環境マネジメントシステム

●ISO14001審査登録

今、地球温暖化や廃棄物処理、水質汚濁など地球環境への大きな課題が取りざたされています。カネソウもこうした環境に与える影響を最小限に抑えるため、また環境保全活動を企業の活動として定着し発展させるために、平成9年9月、全社(支店、営業所も含む全サイト)で環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を取得し、現在も維持しています。



●法規制等の順守

環境に関する全ての法律、規制、条例、協定を順守するため、総務部と環境管理責任者が関連法規制、その他要求事項の一覧表である「法規制等登録簿」を作成し常に最新情報の収集・管理を行っています。省エネルギー法、廃掃法などに基づく報告や届出も期限内に速やかに実施しています。法規制への順守状況については環境管理責任者がチェックリストに基づいて確認し経営層へ報告しています。

●環境管理マニュアルの公開

環境管理マニュアルを弊社ホームページ上で公開しています。カネソウの環境への取り組みを認識していただくと共に、これから取り組まれる企業の方に参考事例としていただくことで、環境への取組みが更に広がると考えています。

●品質方針・環境方針

基本理念の基、品質マネジメントシステム・環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善を進め、業務の有効性の監査を推進します。

1.継続的改善

品質監査・環境監査・マネジメントレビューを実施し、品質マネジメントシステム・環境マネジメントシステムの有効性の継続的改善を行い、品質パフォーマンス・環境パフォーマンスの向上を行います。

2.リサイクル

リサイクルが可能な、あるいはリサイクルしやすい商品を開発します。

3.ライフサイクル思考

全ての活動においてライフサイクル思考を働かせます。

4.汚染抑制

製造プロセス及び付随する活動における汚染の発生を最少にします。

5.発明の奨励

職務発明を奨励します。

6.JIS工場

カネソウの社員はJIS表示認証工場としての維持管理を継続します。

7.下水道用資器材製造認定工場

カネソウの社員は下水道用資器材製造認定工場としての維持管理を継続します。

—本方針は公開するものである—
代表取締役社長 近藤健治

■環境保全活動

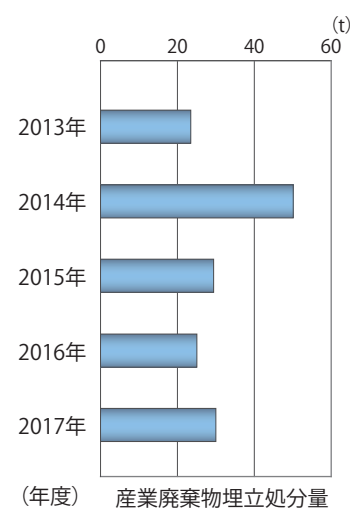
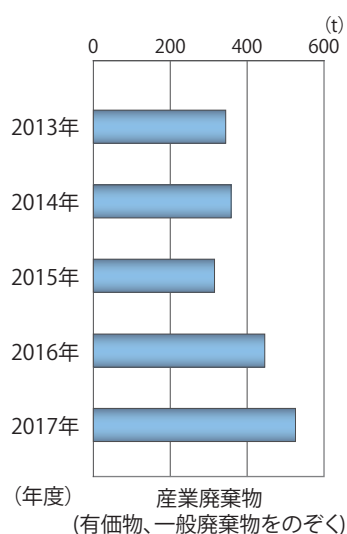
●産業廃棄物の削減

工場内での発生抑制、分別に努めましたが、総排出量は前年より微増、埋立処分量は増加しました。

生産工場がある本社・朝日工場では、廃棄物（有価物、一般廃棄物、産業廃棄物）

について69種類の分別を行っています。事務部門である本社管理棟内では「紙類」を10種類に分別しています。

適正に細かくリサイクルしやすい状態にして分別を行うことでリサイクルを推進しています。

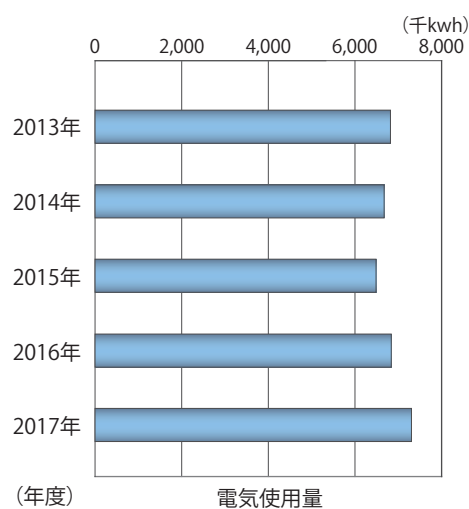


2017年度の最終処分量は30.22トン(2016年度:24.72トン)で、産業廃棄物総排出量523.02トン(2016年度:446.32トン)に占める割合は5.8%です。

●電気使用量の抑制

カネソウは第二種エネルギー管理指定工場に指定されています。エネルギー使用量の大部分が電気であり、電気使用量の削減が即座に、CO₂削減に繋がります。

時差出勤や生産時間の調整による、電気使用量の抑制と平準化、省エネ型電気炉への更新、エコオフィス(空調温度の制限、未使用時消灯、本社事務所棟内の個別消灯、LED照明器具の使用)の推進を進めました。工場内照明は、順次LED照明器具への更新を行っており、更なる電気使用量の抑制につなげます。

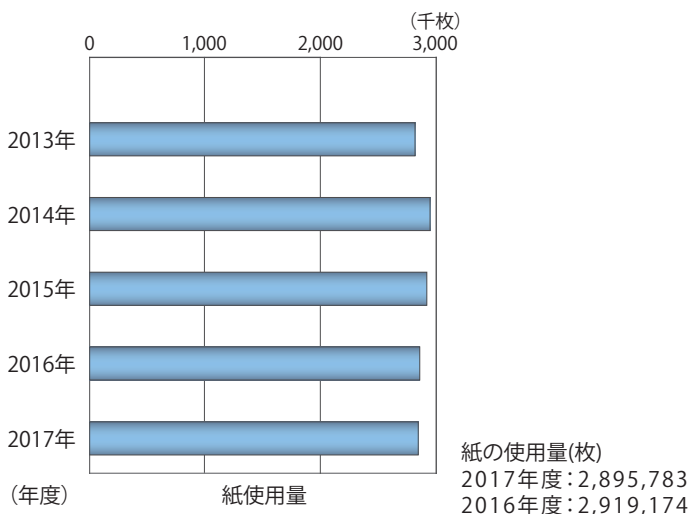


電気使用量(kWh)	CO ₂ 排出量(ton-CO ₂)
2017年度 : 7,296	2017年度 : 計算中
2016年度 : 6,850	2016年度 : 3,509

■環境保全活動

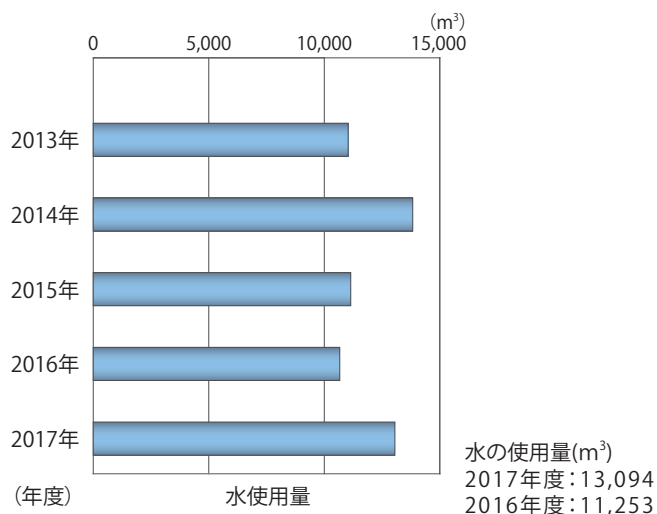
●紙の使用量削減

各種社内資料のデータやEメールなどは、モニターでの確認にとどめ、極力出力しないようにしています。また片面だけ使用されたコピー用紙のうち、裏面の使用可能なものについて裏紙として再利用し、紙の減量に努めていますが、2008年以降、使用量が増加しています。要因としては、チェック用資料の出力の増加などがあります。今後は集約印刷を進め、紙の使用量削減に繋がります。



●水の使用量削減

铸造用水としての使用が多くを占めており、電気炉の冷却方法の改善や水漏れ箇所の改修を行っています。



●グリーン調達

主に事務用品を購入する際、コストだけではなく環境負荷ができるだけ少ない物品を購入しています。購入に際しては公益財団法人日本環境協会監修の「エコマー

男性社員の制服には、再生PET樹脂50%以上のエコマーク商品を採用。



男性社員の制服

社用車は現在、ハイブリッドカーを5台と、省エネ車を3台所有しており、今後も支店・営業所を含め環境配慮・低燃費車両への入れ替えを予定しています。



ハイブリッドカー・省エネ車

商品データベース」を参考にし、各メーカーカタログのエコ商品を選定するように努めています。

社内には現在、フォークリフトが38台あります。内、27台にバッテリー式、8台にLPG式を採用しています。



LPG式フォークリフト



バッテリー式フォークリフト

●PRTR報告制度

PRTR法では、第一種指定化学物質の取扱量が年間1トン以上、その中の特定第一種指定化学物質の取扱量が0.5トン以上の場合に届出義務がありますが、カネソウでは平成13年の法制定以降、届出義務となる量の取扱いはありません。しかし有機溶剤系の塗料を一部、水性塗料へ移行するなど更なる削減を行っています。

PRTR法：特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律



●エコ通勤・温暖化対策

朝日町の呼びかけに応じて、カネソウを含む5社が「朝日町企業エコネット」を結成しエコ活動に取り組んでいます。平成29年5月・10月には、エコ通勤を実施しました。マイカー通勤者が90%以上と圧倒的に多い中、公共交通機関、オートバイ、自転車、徒歩による通勤を呼びかけ、結果としてのべ82名の社員がエコ通勤に取り組むことが出来ました。次年度も期間を定めて実施予定です。

2017年度のエコ通勤者：82名
2017年度のCO₂削減量：3,882kg



●開発・設計の環境配慮

【製品アセスメント】

製品開発時には「製品アセスメントチェックシート」を活用し、開発する製品が環境に配慮していることを次の7項目について、それぞれに細かく確認しています。

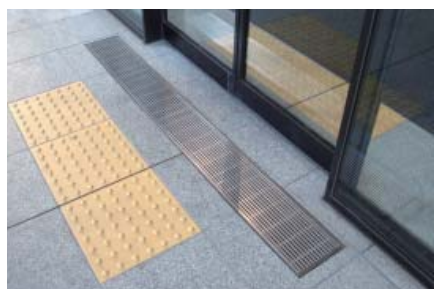
- 製品が使用された後の再利用の容易化
- 製品が使用された後の分解・分離の容易化
- 製品が使用された後の部品等の分別の容易化
- 最終処分時の安全性の確保
- 製品の減量化 ○製品の長期使用化 ○包装材の減量化

【環境配慮製品】

カネソウが創業当時から製造している鋳鉄は、それ自体がリサイクルできるエコ材料ですが、その他にも、リサイクル素材を使用した製品、雨水利用を目的とした製品、防災の分野でお使いいただく製品など、素材、用途、製造工程のそれぞれで環境に配慮した製品をラインナップしています。



タイヤ止め(リサイクルゴムチップ)
タイヤ等、廃材のゴムチップを利用してつくった環境にやさしいタイヤ止めです。



ステンレス製グレーチング(高耐久)
材料強度を向上させ、製品の高耐久化を図ると共に、低価格を実現したステンレス製グレーチングです。



雨ボトル(雨水再利用)
建物の屋上に降り注いだ雨水を、草花への散水や洗車などに利用するための貯水タンクです。

■社会的な取り組み

●清掃美化活動

有志により毎年4回の清掃美化活動を行っています。始業時間前に本社・工場周辺から、ポイ捨てが非常に多い高速道路高架橋下まで範囲を広げて実施しています。毎回30～40名が参加し、清掃美化活動は地域の美化とともに、個人個人の環境意識の向上に役立っています。



●献血協力

献血活動は、健康な社員が誰でも出来る社会貢献活動として毎年2回実施しています。今年も、三重県赤十字血液センターから献血バスが本社・工場を訪れ、約30名が献血に協力しています。カネソウでは献血活動の継続により、日本赤十字社三重県支部支部長から、献血活動推進団体として表彰いただきました。今後も、毎年2回の協力を継続していきます。



●会社見学

本社・朝日工場近くの朝日小学校3年生の皆さんが「地域の様子と働く人について」の学習の一環として本社・朝日工場を見学されました。生徒さんたちは、生産工程や出来上がった製品の説明を聴いて、熱心にメモをとっていました。鑄造ラインでは炉から出てきた真っ赤に溶けた鉄に大歓声が上がりました。今後も当工場を見学していただくことで“地元企業”カネソウに興味を持っていただくことを期待しています。



●地域防犯活動

地域安全活動推進モデル事業所に指定され、地域防犯活動を継続しています。本社・工場の厚生棟や駐車場に防犯ポスターや地域安全啓発旗を設置し、社員及び、地域のみなさんの意識高揚につなげています。また交通安全県民運動期間に合わせ、出勤時のシートベルト着用確認、運転中の携帯電話使用禁止について確認を行い、交通法規の順守、交通安全につなげています。



●AED(自動体外式除細動器)設置

社員、お客様の緊急事態に対応できるよう、本社・朝日工場内にAEDを4台設置しています。正門にはAED設置表示を行い、地域住民の要請にも対応できるようにしています。



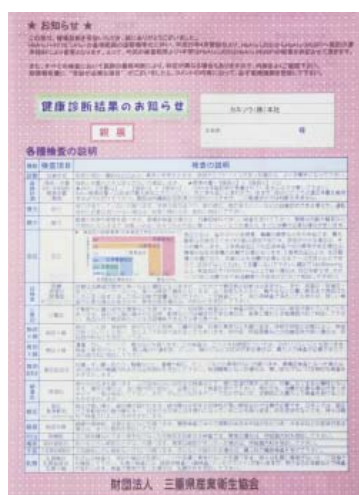
●インターンシップと職業体験

毎年、県内の工業高校、地域の中学校より学生のインターンシップを受け入れています。職業体験を通じて、社会人として必要な基本的なルールとマナーを学んでいただいています。中学生については、働くことの大切さを知るよい機会になっています。

■安全衛生活動

●健康増進

社員全員に血液検査を含めた定期健診を実施しています。再検・要精密検査者には、総務部がその経過をフォローすることで早期発見・早期治療を推進しています。35歳以上の社員には、生活習慣病予防検診を社内定期健診に取り入れ実施しています。また、社員の家族向けに特定検診を実施しています。



●安全衛生活動

安全衛生活動は、安全衛生委員会を中心に活動しています。安全衛生パトロールと安全衛生委員会を通じて、危険箇所、危険作業の洗い出しとその改善、意見交換を通じて安全・安心な職場づくりに取り組んでいます。毎年、車両運転従事者(トラック、フォークリフト)に対して安全運転講習を行い、安全運行を徹底しています。フォークリフトは後部を白く塗装し、接触したことが一目でわかるように工夫しています。また、危険予知トレーニングの実施をきっかけとして、危険予知活動を行っています。



安全パトロールの実施



フォークリフト後部の塗装

■ご意見・ご感想をお寄せください

「環境・社会報告書 2017」を最後までお読み頂き、誠にありがとうございました。

本報告書は平成9年9月にISO14001の認証取得以降、弊社が取り組んできた内容をお知らせするもので、具体的な事例や実績数値をもとに少しでも皆様にご理解いただけるように努めました。内容的にはまだまだ不十分な点もありますが、皆様からお寄せいただく貴重なご意見を、今後の活動の参考とさせていただきたいと考えております。よろしければ、弊社品質保証部まで、ご意見・ご感想をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

カネソウ株式会社 品質保証部

〒510-8101 三重県三重郡朝日町大字縄生81番地

<TEL>059-377-4747 <FAX>059-377-5684

【E-mailアドレス】gijutu@kaneso.co.jp

快適をかたちに
KANESO

環境マネジメントシステム規格 (ISO14001) 審査登録
品質マネジメントシステム規格 (ISO 9001) 審査登録



JAB
CM001



EMS
ISO14001
JSAE 013



QMS
ISO9001
JSAQ118

日本工業規格表示認証工場 (認証番号 JW0406002)
下水道用資器材製造認定工場 (認定番号 112402)

カネソウ株式会社 <名古屋証券取引所市場第2部上場 証券コード 5979>

本 社 〒510-8101 三重県三重郡朝日町大字縄生81番地 TEL (059) 377-3232 FAX (059) 377-3905

東京支店
〒105-0004 東京都港区新橋六丁目9番5号 JBビルディング3F
(本社コールセンター) TEL (03) 3433-6855 FAX (03) 3433-6755
(直通) TEL (03) 3433-6645 FAX (03) 3433-6637

大阪営業所
〒540-0026 大阪市中央区内本町一丁目1番6号 内本町B&Mビル6F
(本社コールセンター) TEL (06) 6942-7030 FAX (06) 6942-7020
(直通) TEL (06) 6941-7045 FAX (06) 6941-7054

仙台営業所
〒980-0804 仙台市青葉区大町一丁目1番8号 第3青葉ビル9F
(本社コールセンター) TEL (022) 214-5855 FAX (022) 214-5856
(直通) TEL (022) 214-8088 FAX (022) 214-8089

福岡営業所
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前四丁目8番15号 博多鳳城ビル6F
(本社コールセンター) TEL (092) 432-2525 FAX (092) 432-2526
(直通) TEL (092) 432-2532 FAX (092) 432-4976

ホームページアドレス <http://www.kaneso.co.jp/> E-Mailアドレス info@kaneso.co.jp